

高番けれていまする かさなり山のかしるがはなるけ 不中ですうていけるからまく けるなべれがのみるうろ の物所人がかき人かきる いのめくひかっまってたいなか であれきいるとう 今もんろうちょうたとる れるるのかなけっとの太多とう からいっる然又あり 今と土地と乗ゆるうれん 宝べいいなどは風いないる ないろとまず出かっち 中ですく 行びるとうやらる古大方 おうちなぞううがけのかも 好は切れる中の経動しなか ちで大はれこるかのかか 必及方がお海流を商権 八二日まっかっ大地震を言 教養時でで 真なちは多近我活色の うっまの打ななってん するなけるい いんあいちょすかきれ 上風があるうで 聖人 大なな いるれなるかは上かり きてもはいれたときからくかいア一田町にはるまやのていてろうちん

するうけらて出火やく かかけるとろうす 教をする からいまあま

0 1 2 3 4

5

からまるからうひ かんちょう る主人のはる方のかいない せなて対なあするかすりまです 一切的丁格いていきるるる人 大分子大九色神子枝山丁人於 すりたかかとうす、新いからる 日本福書明小四条十八十七十二 林四年十 学田大変を言いたとう おきなどう スマンスナンつき 老後のま 中がきな きからそ数 在妈路打 香でき 事各面亦 芸されぞろ 内谷の る古野なれ 土花云 大地ない K 京切於首门三百

教養の切見世

南山

そのかつの

スなかくそかのろくなったくめく こう方がきでもいいできてのであて すすであるはくろうりかり くっと毎日あるといるできているとかなるくのころはまたなま 18318 そけなけ、中は数るる数 まるまき老様なる人数 スいとろかのころの後失りて 一元三なるみではませないな 十人が上は苦切りますると 初在京本帝安急了かう るかの間はったけるなとる話 通材本方量太田野歌十五面 までいるないいでするないな

姓去名子孙孝子問、ふうり他田やすをとなるできてうことととなったかの心下なるのは経神一日 少小年後晚代中工業工奏路表色 あるうろその代地は大名中 香るのほか町大衛之り風 あく枝大生者何おかち何边 地をなるくつがき 1000 は此中なるのであるかな すりに方はよくづれるい 何一ま、多食湯の家で町す これへばは、井付大れげ大は丁冬会 姓失為きな中心は最大 おんな後まれた二丁で方 中华を表情与を成然 とそつぎ仲でをつきるなって 予人間後失後はうのあり 数るとだけるんでうニカ はくづきれかけるな んかりれののかとろうの きんかんでははきかく そいではずま町ん 小路接地である 名とばてまぐり間

678910123456789201234567893012345678940123456789501234567895012345678950123456789701

そうとか教ろうなるかなる大人は大人のかる対しち ちったなきこのな場のを大水戸とある大平天田及け往至町 近かを食はる下やけ そといけのあちないなると きれるうと ところ おちもんのなるがって きるぜんなう 

とのいせの水ははのでかかく